

令和5年

宮城県 海難発生状況

宮城海上保安部

令和6年4月

目 次

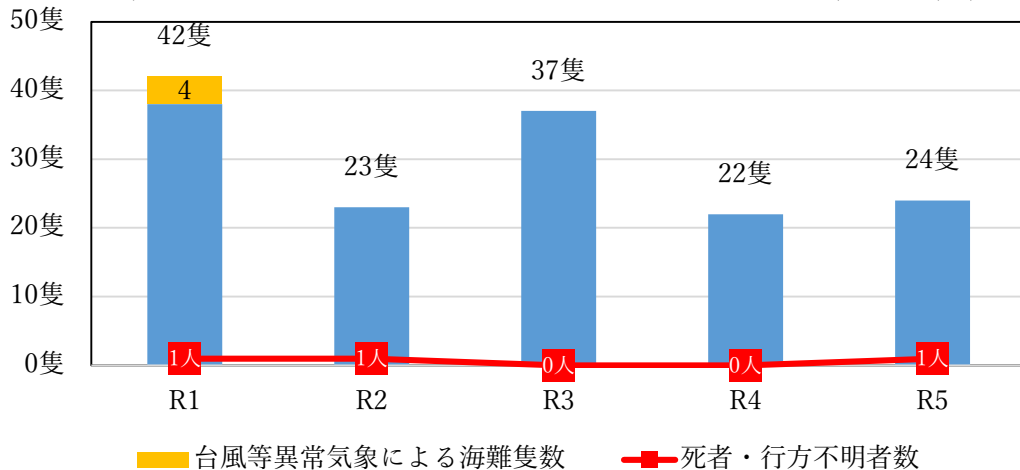
1 船舶海難の特徴	P1
(1) 船舶海難(全体)	P1
(2) 漁船海難	P3
(3) プレジャーボート海難	P5
① PWC	P7
② ミニボート	P8
(4) 工事関係船(作業船・その他)	P9
2 人身海難の特徴	P11
(1) 人身海難(全体)	P11
(2) 船舶海難によらない人身事故	P12
① 漁 船	P13
② プレジャーボート	P16
③ 工事関係船(作業船・その他)	P18
(3) マリレに伴う海浜事故	P20
① 釣り中	P21
② 遊泳中	P23
③ 18歳以下のマリレに伴う海浜事故の状況	P25
(4) マリレ以外の海浜事故	P26
3 海難発生時における救命胴衣の着用率	P27
(1) 漁船からの海中転落者の救命胴衣着用率	P27
(2) プレジャーボートからの海中転落者の救命胴衣着用率	P27
(3) 釣り中の海中転落者の救命胴衣着用率	P27

1 船舶海難の特徴

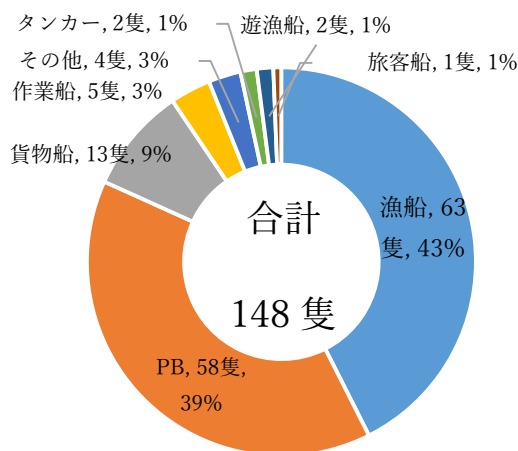
(1) 船舶海難（全体）

- ✓ 令和5年は前年比2隻増の24隻と増加した。
- ✓ 累計では、漁船による海難が最も多く全体の43%（63隻／148隻）を占め、次いでプレジャーボートが39%（58隻）を占める。

〔船舶海難の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



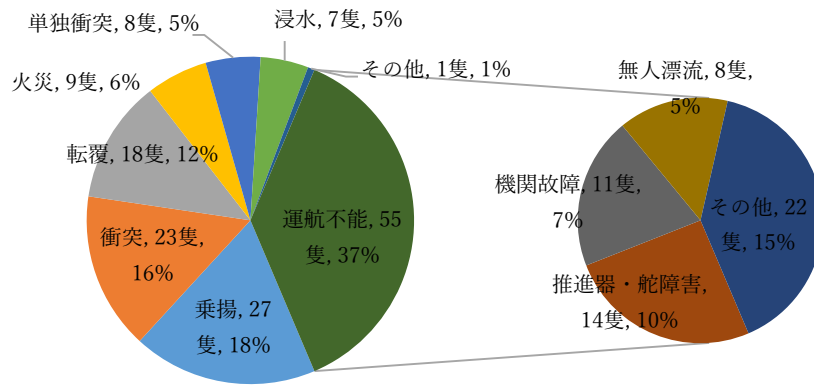
〔船舶種類別の割合（5年間累計）〕



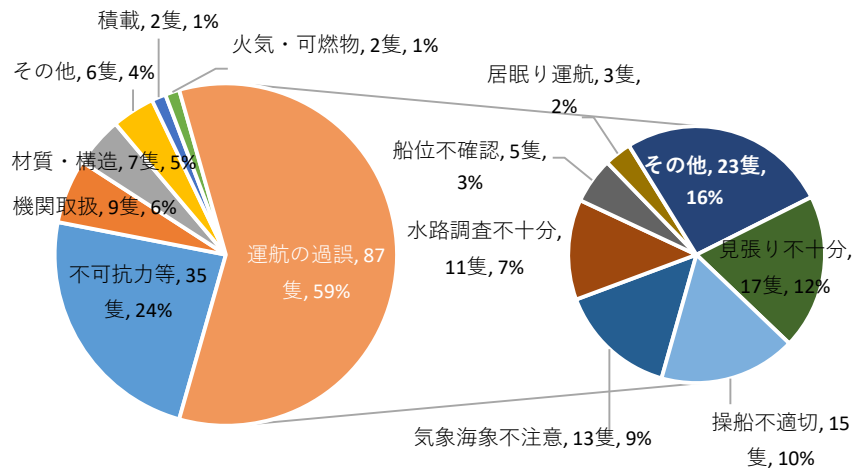
〔船舶種類別の海難発生状況の推移（5年間）〕

	R1	R2	R3	R4	R5	計
漁船	23隻	11隻	10隻	9隻	10隻	63隻
PB	11隻	12隻	14隻	9隻	12隻	58隻
貨物船	4隻		7隻	1隻	1隻	13隻
作業船	3隻		1隻	1隻		5隻
その他	1隻		2隻		1隻	4隻
タンカー			2隻			2隻
遊漁船				2隻		2隻
旅客船			1隻			1隻
計	42隻	23隻	37隻	22隻	24隻	148隻

〔海難種類別の割合（5年間累計）〕



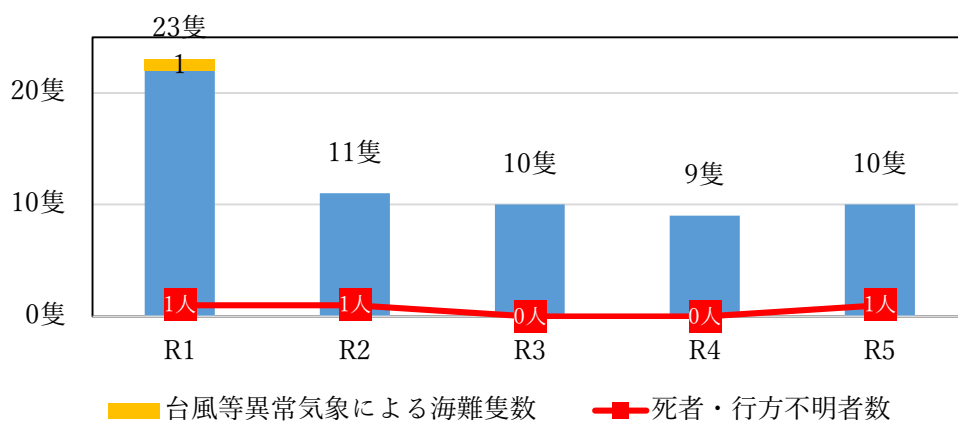
〔海難原因別の割合（5年間累計）〕



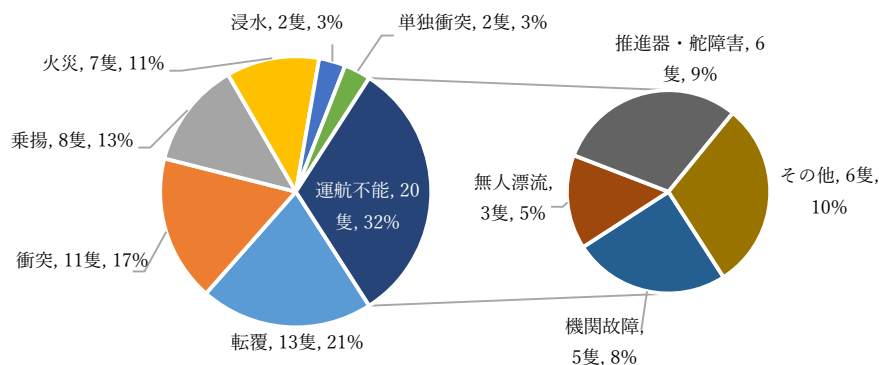
(2) 漁船海難

- ✓ 令和5年は前年比1隻増の10隻と増加したが、近年はほぼ横ばいで推移。
- ✓ 海難種類別にみると、運航不能海難が最も多く、全体の32%（20隻／63隻）を占め、次いで転覆海難が21%（13隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、秋季（9月～11月）及び冬季（12月～2月）に各19隻と多く発生し、特に10月に多く発生する傾向にあるが、年間を通じて発生している。（5年間累計）

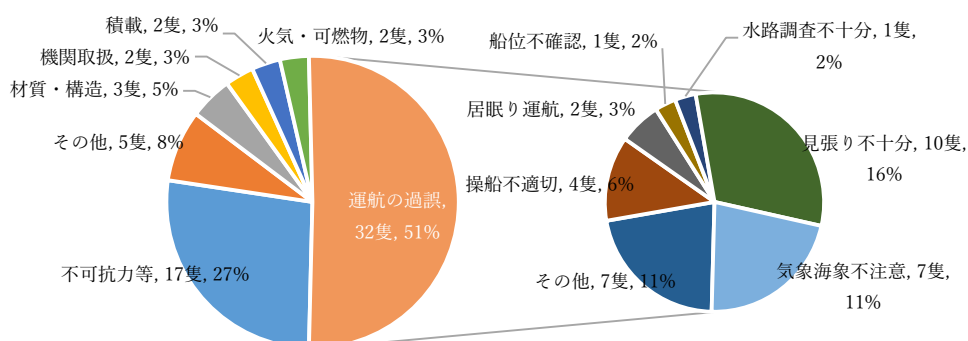
〔漁船海難の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔海難種類別の割合（5年間累計）〕



〔海難原因別の割合（5年間累計）〕



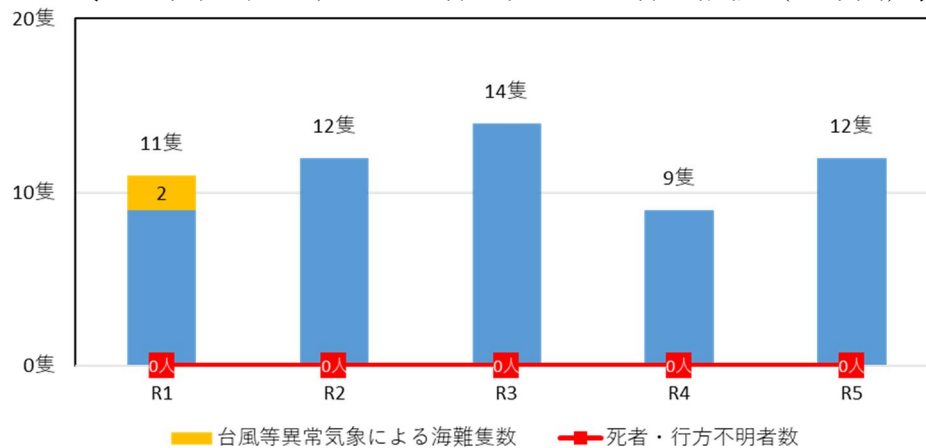
〔漁船海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	1隻	0隻	0隻	2隻	1隻	1隻	4隻	0隻	1隻	5隻	4隻	1隻	20隻
推進器・舵障害						1隻	2隻			3隻			6隻
無人操縦				1隻						1隻		1隻	3隻
機関故障							2隻		1隻	1隻	1隻		5隻
その他	1隻			1隻	1隻						3隻		6隻
転覆	3隻	1隻		3隻	2隻		1隻			1隻	1隻	1隻	13隻
衝突	3隻									2隻	2隻	4隻	11隻
乗揚		2隻		1隻		1隻		2隻	1隻			1隻	8隻
火災			2隻	1隻		1隻		2隻		1隻			7隻
浸水												2隻	2隻
単独衝突					1隻					1隻			2隻
その他													0隻
計（月）	7隻	3隻	2隻	7隻	4隻	3隻	5隻	4隻	2隻	10隻	7隻	9隻	63隻
計（季節）	19隻		13隻			12隻			19隻				63隻

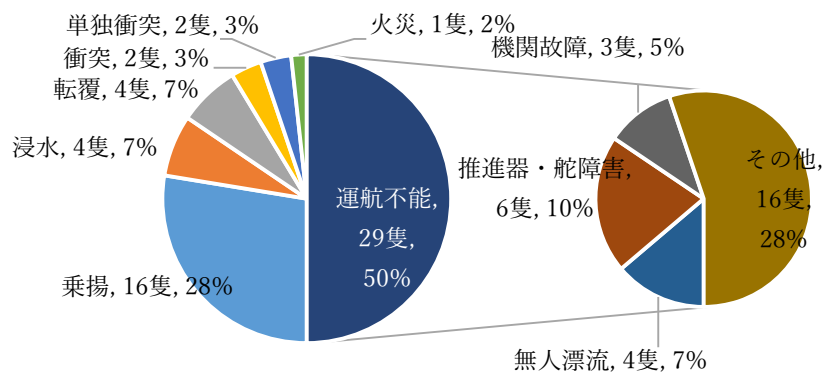
(3) プレジャーボート海難

- ✓ 令和5年は前年比3隻増の12隻と増加。
- ✓ 海難種類別にみると、運航不能海難が最も多く全体の半数（29隻／58隻）を占め、次いで乗揚海難が28%（16隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、年間を通じて発生しており、夏季（6月～8月）及び秋季（9月～11月）が各19隻と最も多く、特に10月に多発している。
- ✓ PWC海難は、前年比1隻減の2隻に減少。

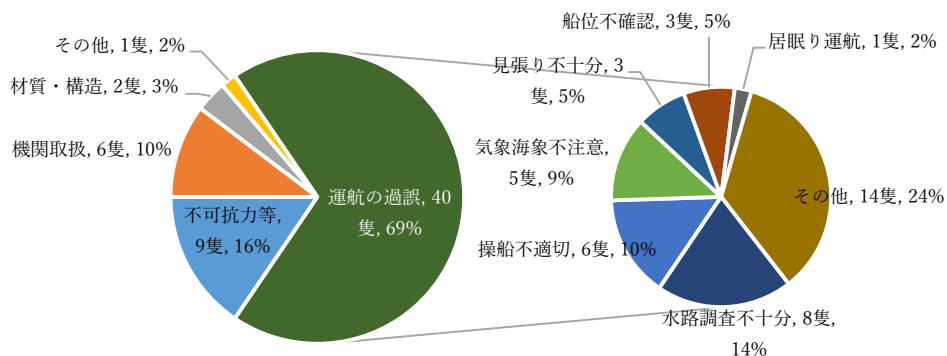
〔PB海難の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔PB海難種類別の割合（5年間累計）〕



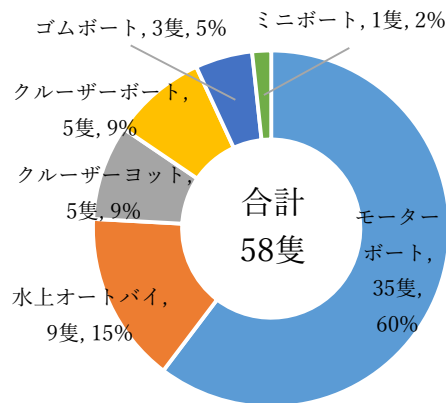
〔PB海難原因別の割合（5年間累計）〕



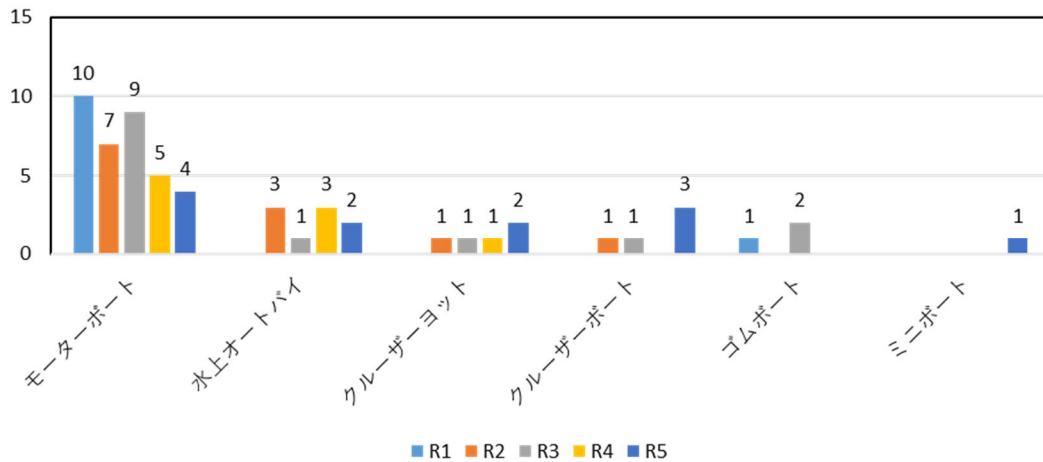
〔PB 海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
運航不能	1隻	0隻	3隻	1隻	3隻	2隻	3隻	5隻	4隻	4隻	2隻	1隻	29隻
無人漂流						1隻	1隻			2隻			4隻
推進器・舵障害				1隻	1隻	1隻		1隻	1隻			1隻	6隻
機関故障	1隻		2隻										3隻
その他			1隻		2隻		2隻	4隻	3隻	2隻	2隻		16隻
乗揚	1隻	2隻	3隻	2隻		1隻	1隻		1隻	2隻	2隻	1隻	16隻
浸水	1隻						1隻			2隻			4隻
転覆				1隻			1隻				1隻	1隻	4隻
衝突							2隻						2隻
火災								1隻					1隻
単独衝突						1隻		1隻					2隻
その他													0隻
計(月)	3隻	2隻	6隻	4隻	3隻	4隻	8隻	7隻	5隻	9隻	5隻	2隻	58隻
計(季節)	7隻		13隻			19隻			19隻				58隻

〔PB 種類別の割合（5年間累計）〕



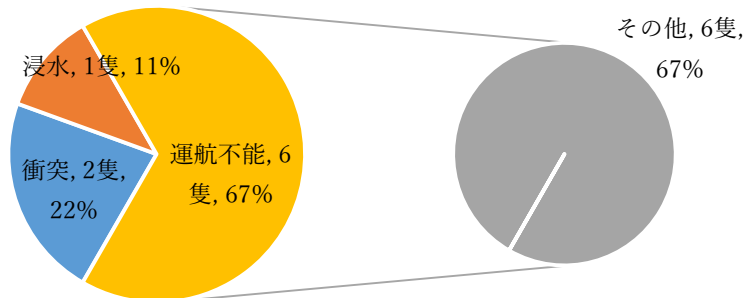
〔PB 種類別の海難発生状況の推移と割合（5年間累計）〕



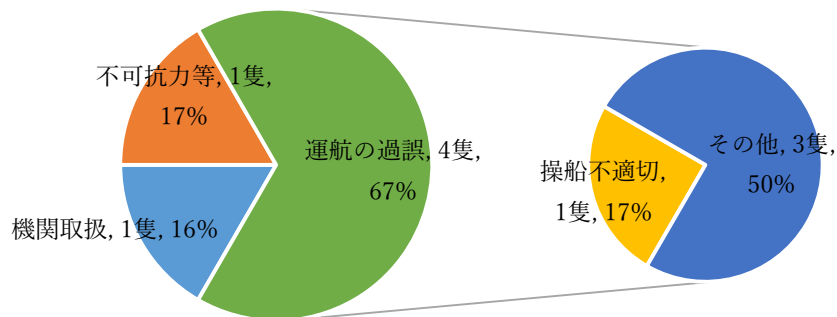
① PWC

✓ 発生時期は、7月に多発する傾向にある。(5年間累計)

〔PWC 海難種類別の割合 (5年間累計)〕



〔PWC 海難原因別の割合 (5年間累計)〕



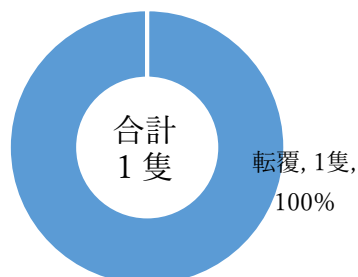
〔PWC 海難の発生時期と海難の種類 (5年間累計)〕

	冬		春			夏			秋			計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
航行不能	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	1隻	2隻	2隻	0隻	0隻	0隻	6隻
(その他)					1隻		1隻	2隻	2隻				6隻
衝突							2隻						2隻
浸水							1隻						1隻
計(月)	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	4隻	2隻	2隻	0隻	0隻	0隻	9隻
計(季節)	0隻		1隻			6隻			2隻				9隻

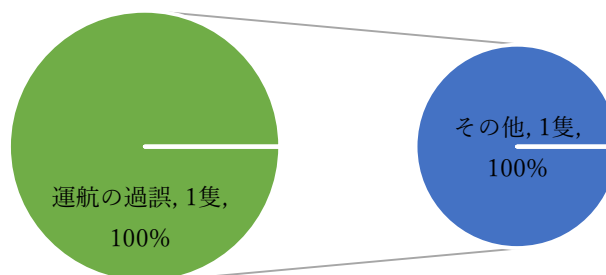
② ミニボート

- ✓ ミニボート上において、バランスを崩したことによる転覆海難（R5）が1隻発生（ミニボートの海難は約9年ぶりに発生した。）

〔海難種類別の割合（5年間累計）〕



〔海難原因別の割合（5年間累計）〕



〔海難種類別の発生状況の推移と割合（5年間累計）〕

	R1	R2	R3	R4	R5	計
転覆					1隻	1隻
計	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	1隻

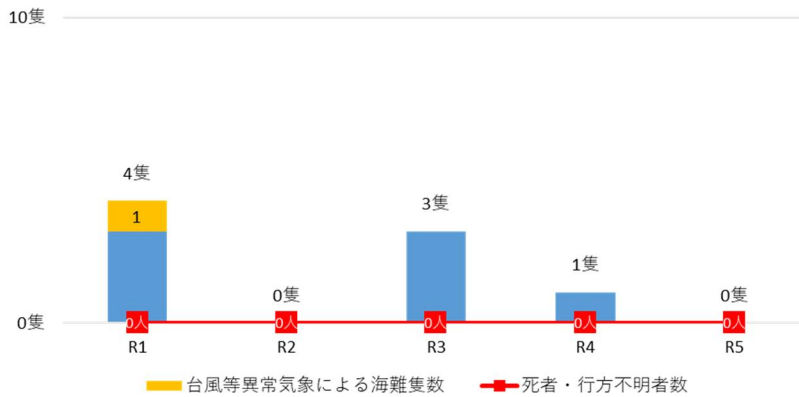
〔ミニボート海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
転覆							1隻						1隻
計（月）	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻
計（季節）	0隻		0隻			1隻			0隻			1隻	

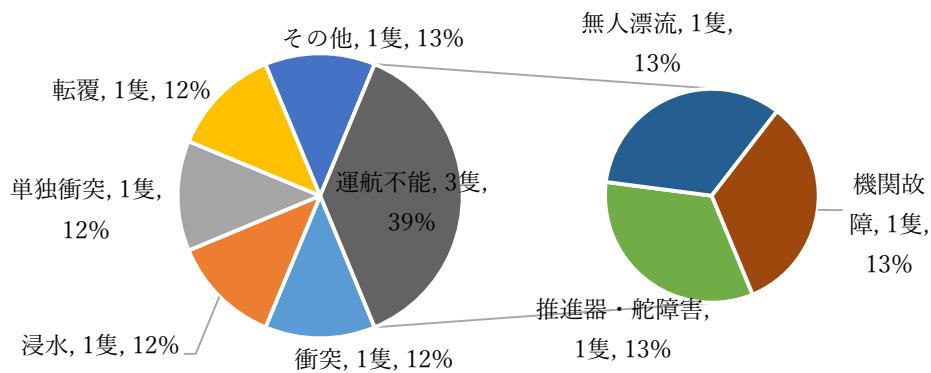
(4) 工事関係船（作業船・その他）

- ✓ 令和5年は前年比1隻減の0隻と海難発生はなかったが、断続的に発生している。
- ✓ 海難種類別にみると、運航不能によるものが最も多く、全体の39%（3隻／8隻）を占め、次いで衝突、浸水、単独衝突、転覆及びそのほかがそれぞれ約12%（1隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、秋季（9月～11月）に多く発生している。（5年間累計）

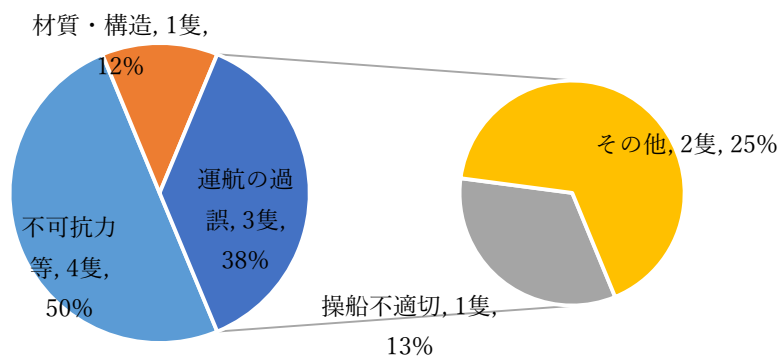
〔工事関係船海難の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔工事関係船海難種類別の割合（5年間累計）〕



〔工事関係船海難原因別の割合（5年間累計）〕



〔工事関係船海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

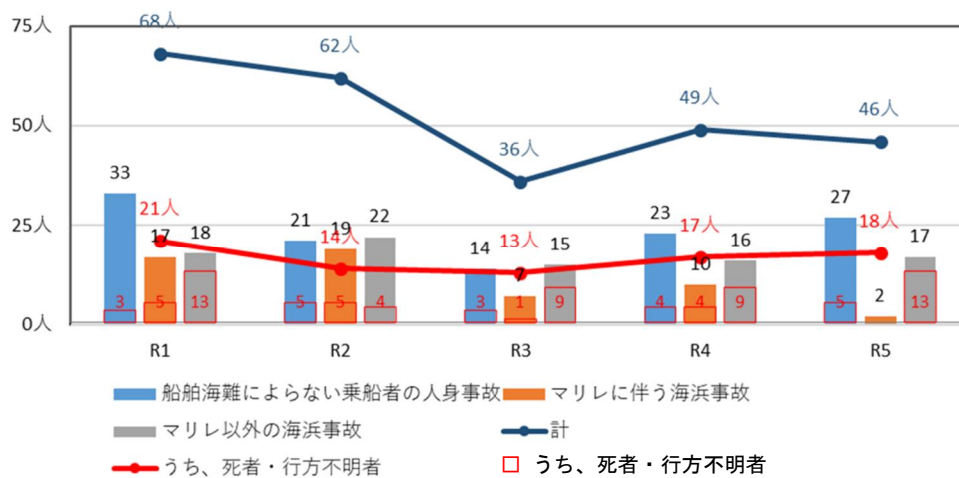
	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
運航不能	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	1隻	1隻	0隻	3隻
（無人漂流									1隻				1隻
推進器・舵障害										1隻			1隻
機関故障											1隻		1隻
浸水			1隻										1隻
衝突				1隻									1隻
転覆												1隻	1隻
単独衝突										1隻			1隻
その他									1隻				1隻
計（月）	0隻	0隻	1隻	1隻	0隻	0隻	0隻	0隻	2隻	2隻	1隻	1隻	8隻
計（季節）	1隻		2隻			0隻			5隻				8隻

2 人身海難の特徴

(1) 人身海難（全体）

- ✓ 令和5年は前年比3人減の46人と減少した。
- ✓ 死者・行方不明者は前年比1人増の18人と増加したが、近年はほぼ横ばいで推移。
- ✓ 船舶海難によらない乗船者の人身事故が前年比4人増の27人と増加した。
- ✓ マリンレジャーに伴う海浜事故は、前年比8人減の2人と大幅に減少し、過去10年間において最少となった。

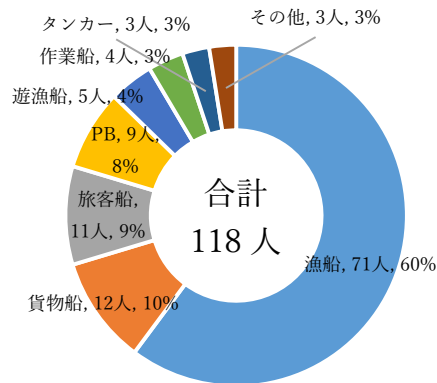
〔人身海難の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



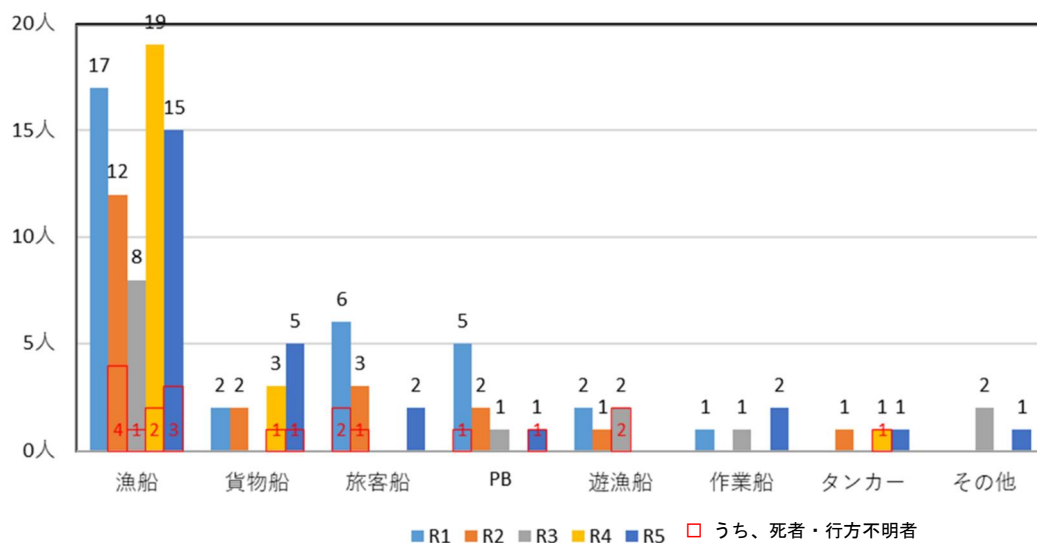
(2) 船舶海難によらない乗船者の人身事故

- ✓ 漁船乗船者の人身事故が前年比4人減の15人と減少した。
- ✓ 船舶種類別にみると、漁船による海難が突出して多く、全体の60% (71人/118人) を占め、次いで貨物船が10% (12人) と続く。(5年間累計)

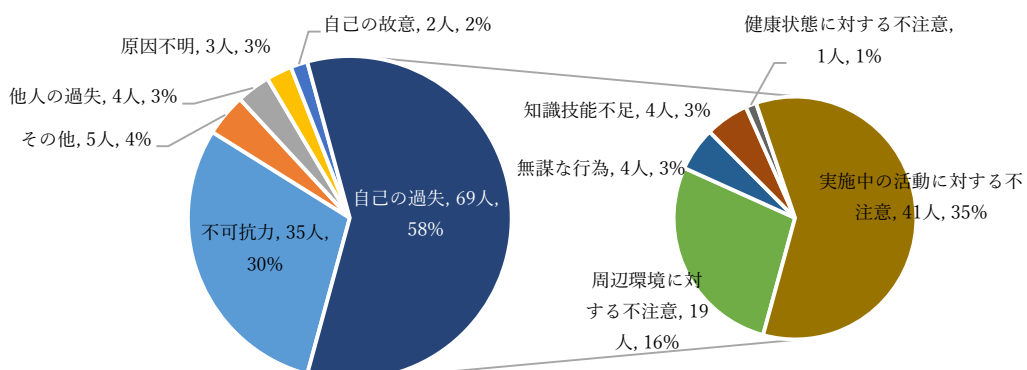
〔活動内容別の割合 (5年間累計) 〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移 (5年間) 〕



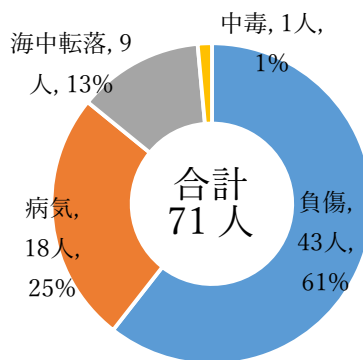
〔海難原因別の割合 (5年間累計) 〕



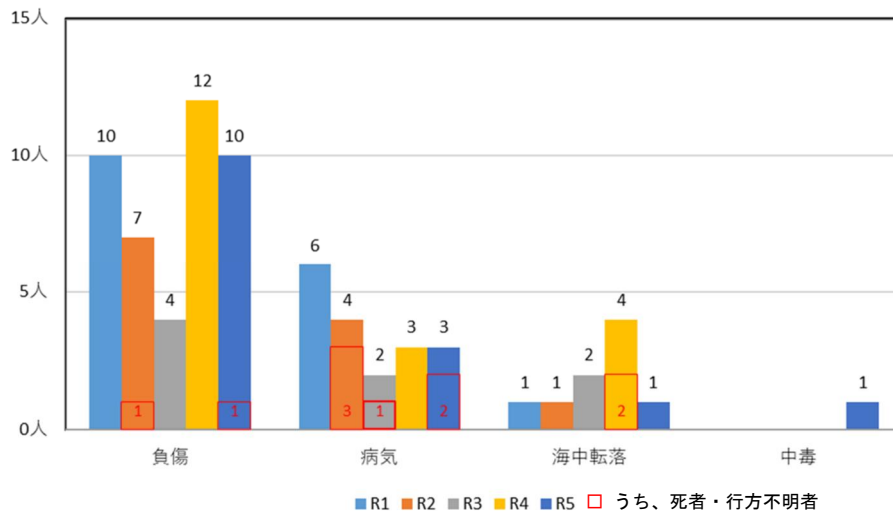
① 漁 船

- ✓ 海難種類別にみると、負傷によるものが最も多く、全体の61%（43人／71人）を占め、次いで病気によるものが25%（18人）と続く。（5年間累計）
- ✓ 負傷による人身事故が前年比2人減の10人と減少した。
- ✓ 巻き込まれによる事故が前年比5人減の1人と大幅に減少したものの、挟まれによるものが前年比2人増の3人、ロープの破断等による物との接触・衝突による事故が前年比1人増の3人と増加している。
- ✓ 漁船乗船者の海難の原因は、全体の70%（50人）が自己の過失によるものであり、そのうち46%（33人）が実施中の活動に対する不注意によるものであった。
- ✓ 発生時期は、年間を通じて発生しているが、過去5年においては11月から12月に多発する傾向にある。

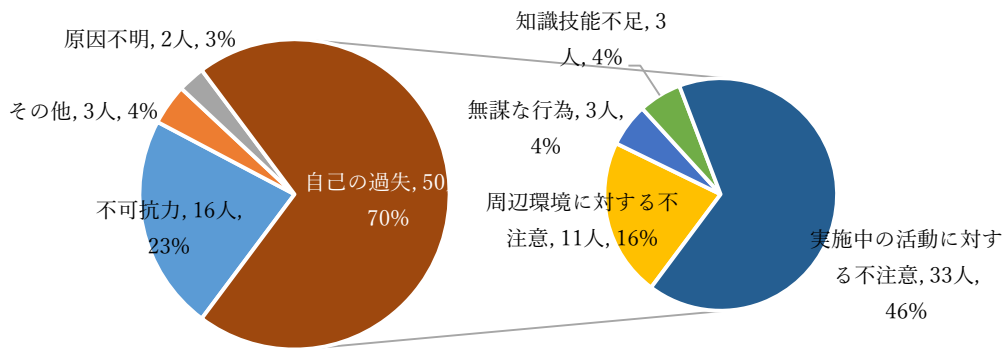
〔漁船による人身海難の種類別の割合（5年間累計）〕



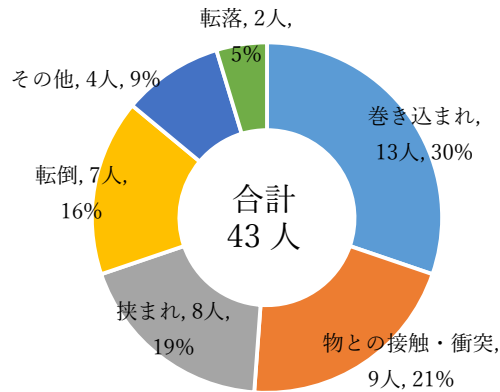
〔漁船による人身海難の種類と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



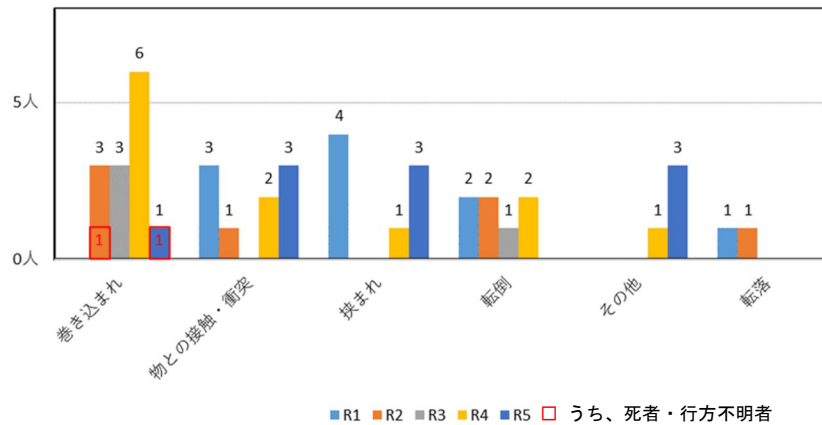
〔漁船による人身海難の原因別の割合（5年間累計）〕



〔漁船による負傷事故の種類別の割合（5年間累計）〕



〔負傷事故の種類と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



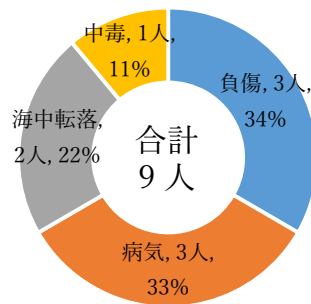
〔漁船による人身海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷	4人	4人	2人	3人	3人	5人		3人	3人	4人	6人	6人	43人
うち、死者・行方不明者	1人	1人											2人
病気	1人			4人	1人		1人	1人	2人		6人	2人	18人
うち、死者・行方不明者	1人				1人		1人				2人	1人	6人
海中転落	1人	1人		1人			2人		2人		1人	1人	9人
うち、死者・行方不明者									2人				2人
中毒											1人		1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	6人	5人	2人	8人	4人	5人	3人	4人	7人	4人	14人	9人	71人
うち、死者・行方不明者	2人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	2人	0人	2人	1人	10人
計（季節）	20人		14人			12人			25人				71人
うち、死者・行方不明者	4人		1人			1人			4人				10人

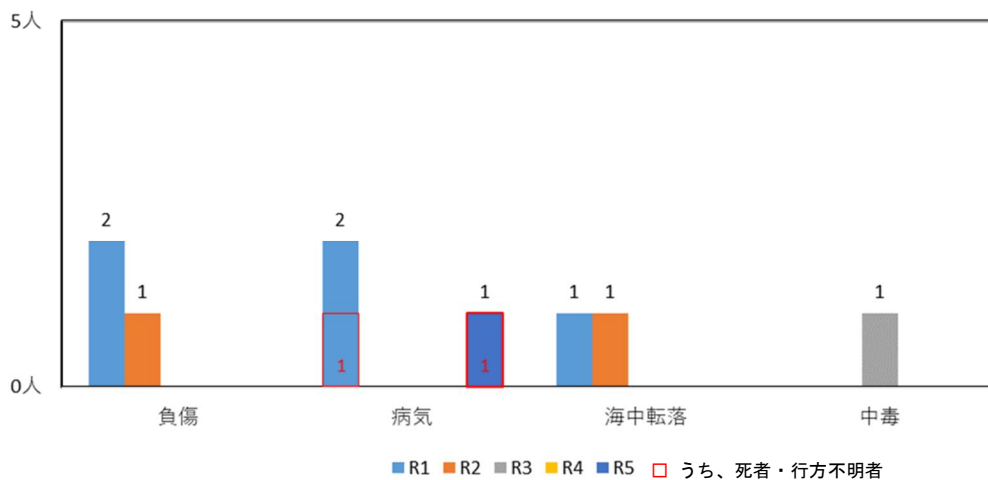
② プレジャーボート

- ✓ 海難種類別にみると、病気及び負傷によるものが最も多く、それぞれ全体の約33%（3人/9人）を占めている。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、7月に多く発生する傾向にある。

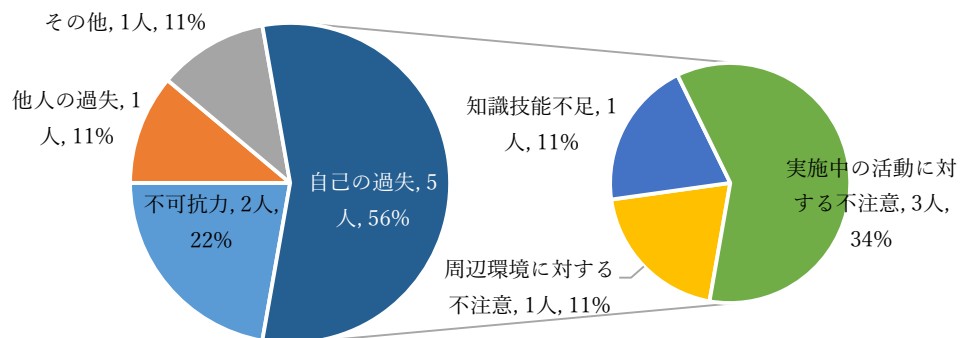
〔プレジャーボートによる人身海難の種類別の割合（5年間累計）〕



〔PBによる人身海難の種類と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔プレジャーボートによる人身海難の原因別の割合（5年間累計）〕



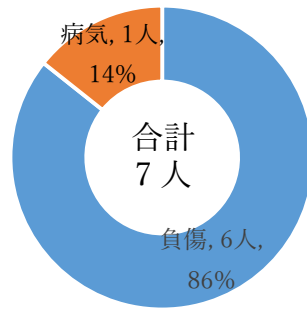
〔プレジャーボートによる人身海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
失墜							3人						3人
うち、死者・行為不明者													0人
病気							1人		1人	1人			3人
うち、死者・行為不明者							1人		1人	1人			2人
海中転落							1人				1人		2人
うち、死者・行為不明者													0人
中毒							1人						1人
うち、死者・行為不明者													0人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	0人	1人	1人	1人	0人	9人
うち、死者・行為不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人
計（季節）	0人		0人			6人			3人				9人
うち、死者・行為不明者	0人		0人			1人			1人				2人

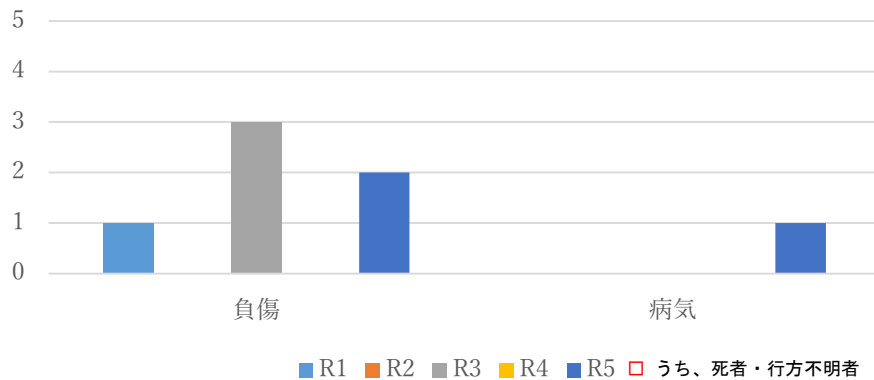
③ 工事関係船（作業船・その他）

- ✓ 海難種類別に見ると、負傷によるものが全体の86%（6人/7人）であり、病気によるものが14%（1人）であった。
- ✓ 年間を通し、断続的に発生している。（5年間累計）

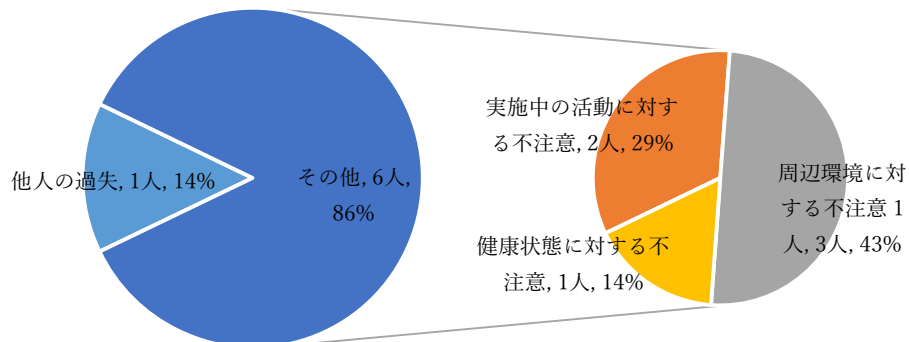
〔工事関係船による人身海難の種類別の割合（5年間累計）〕



〔工事関係船による人身海難の種類と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔工事関係船による人身海難の原因別の割合（5年間累計）〕



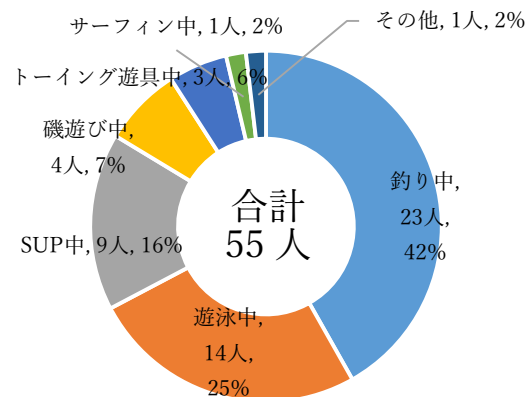
〔工事関係船による人身海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
負傷	1人			2人	1人					1人	1人		6人
うち、死者・行方不明者													0人
病気								1人					1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	1人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	7人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計（季節）	1人		3人			1人			2人			7人	
うち、死者・行方不明者	0人		0人			0人			0人			0人	

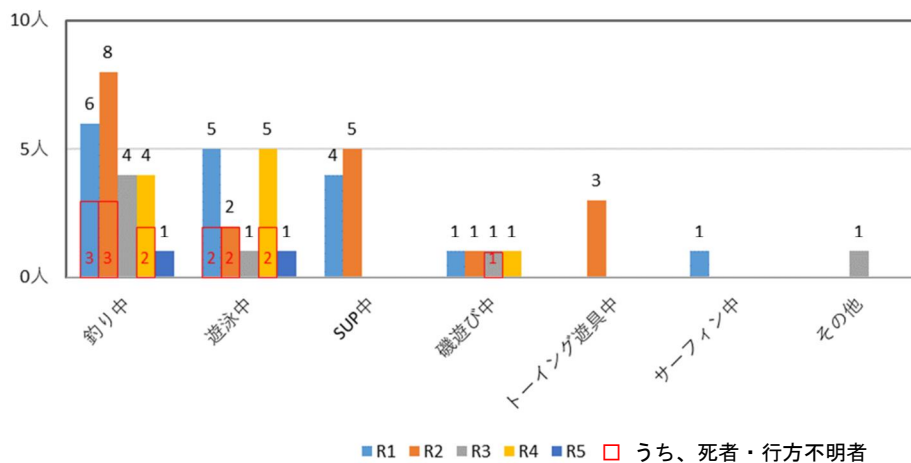
(3) マリレに伴う海浜事故

- ✓ 釣り中の事故が前年比 3 人減の 1 人、遊泳中の事故が前年比 4 人減の 1 人と減少した。
- ✓ 活動内容別に見ると、釣り中の事故が最も多く、全体の 42% (23 人 / 55 人) を占め、次いで遊泳中の事故が 25% (14 人) と続く。(5 年間累計)

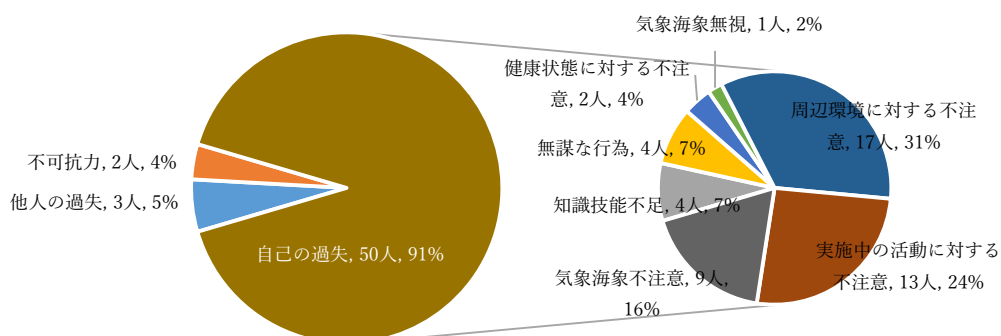
〔活動内容別の割合 (5 年間累計)〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移 (5 年間)〕



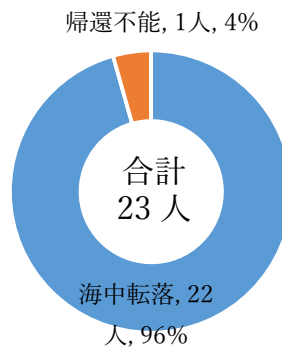
〔事故原因別の割合 (5 年間累計)〕



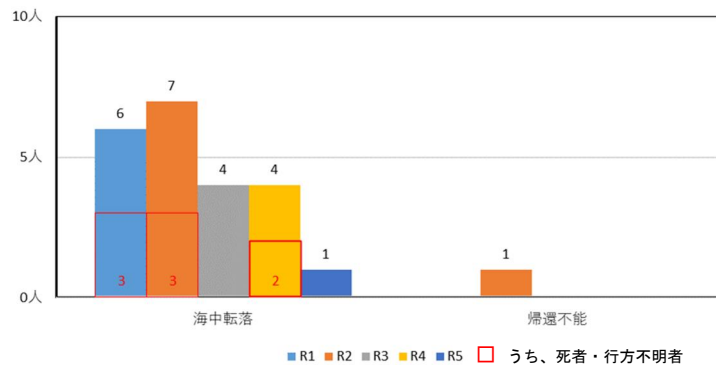
釣り中

- ✓ 海難種類別にみると、海中転落によるものが突出して多く全体の96%（22人／23人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 海難原因別にみると、実施中の活動に対する不注意が最も多く全体の44%（10人／23人）を占め、次いで周辺環境に対する不注意が26%（6人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 年間を通じて発生しているが、秋季（9月～11月）に多く発生する傾向がある。（5年間累計）
- ✓ 死者・行方不明者を伴う海難の発生時期は、冬季（12月～2月）に多く発生する傾向にあり、その全てが海中転落による。（5年間累計）

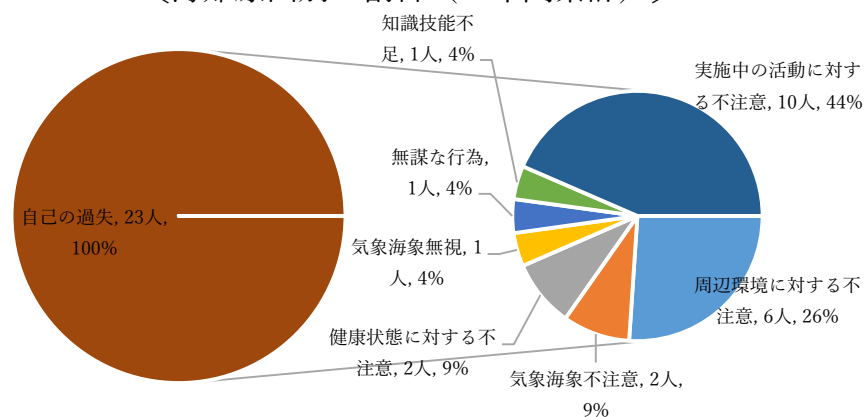
〔海難種類別の割合（5年間累計）〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔海難原因別の割合（5年間累計）〕



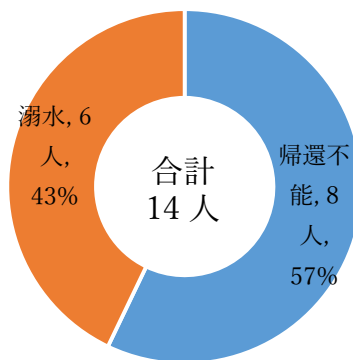
〔釣り中の人身海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋				計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
海中転落		4人	3人			2人	2人	1人	4人	2人	3人	1人	22人
うち、死者・行方不明者		3人					1人	1人	1人	1人		1人	8人
滞還不能											1人		1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	0人	4人	3人	0人	0人	2人	2人	1人	4人	2人	4人	1人	23人
うち、死者・行方不明者	0人	3人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	1人	0人	1人	8人
計（季節）	5人		3人			5人			10人				23人
うち、死者・行方不明者	4人		0人			2人			2人				8人

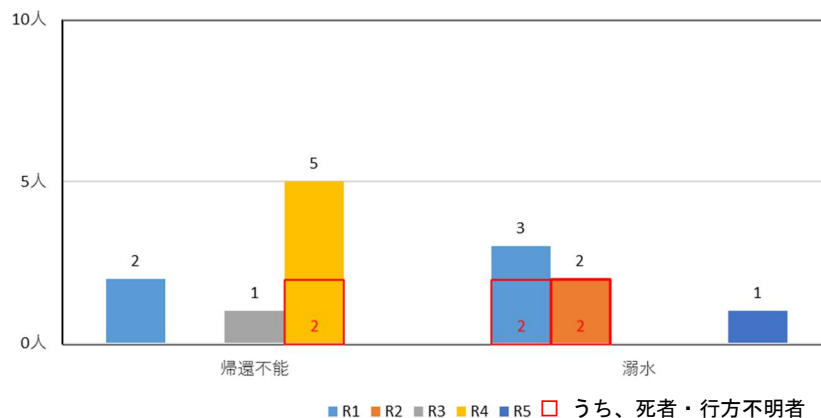
② 遊泳中

- ✓ 海難種類別にみると、帰還不能が最も多く全体の57%（8人／14人）を占め、次いで溺水が43%（6人）と続く。（5年間累計）
- ✓ 海難原因別にみると、周辺環境に対する不注意が突出して多く全体の64%（9人／14人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 遊泳中の事故は、全て海水浴場（遊泳可）以外の場所で発生している。（5年間累計）

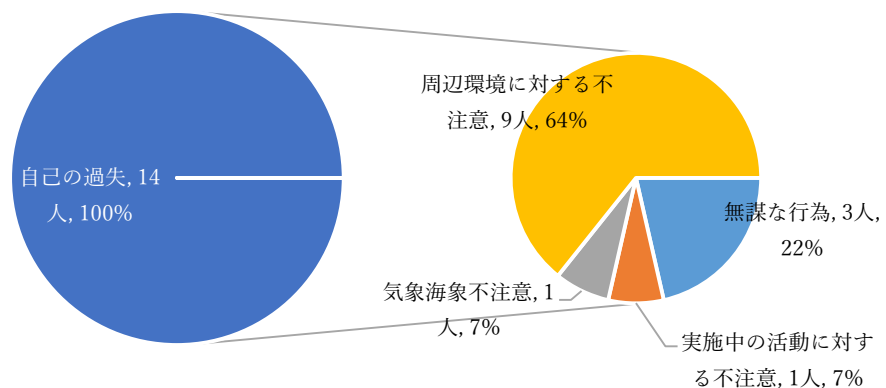
〔海難種類別の割合（5年間累計）〕



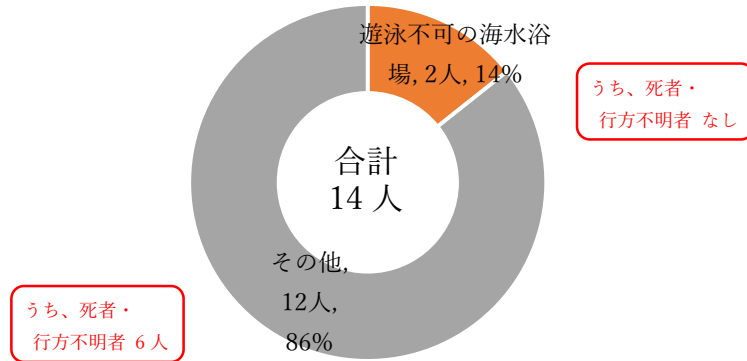
〔海難種類別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



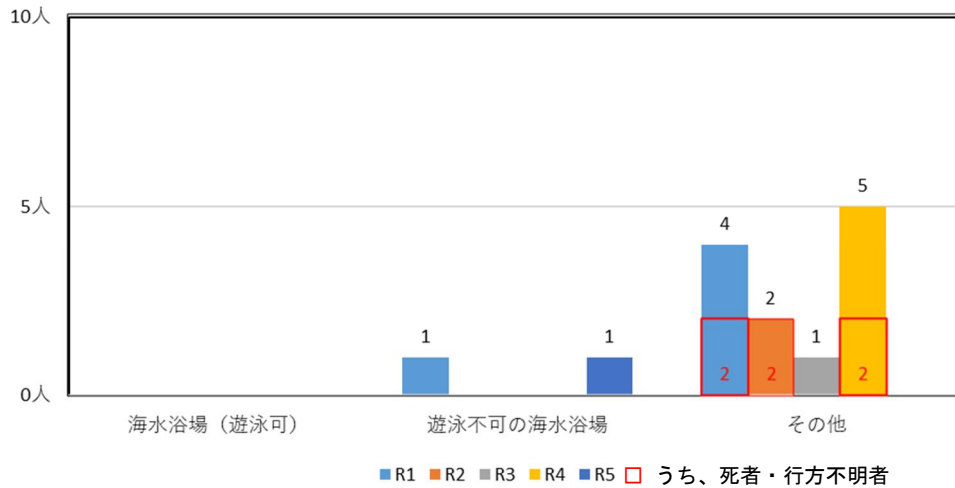
〔海難原因別の割合（5年間累計）〕



〔遊泳場所別の割合（5年間累計）〕



〔遊泳場所別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔遊泳場所別の推移（5年間累計）〕

	R1	R2	R3	R4	R5	計
海水浴場（遊泳可）						0人
遊泳不可の海水浴場	1				1	2人
その他	4	2	1	5		12人

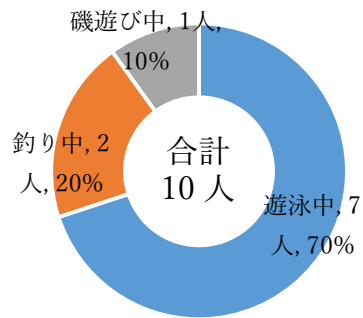
〔遊泳中の人身海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
帰還不能							6人	1人	1人				8人
うち、死者・行方不明者							1人		1人				2人
溺水						3人	1人	1人	1人				6人
うち、死者・行方不明者						2人		1人	1人				4人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	3人	7人	2人	2人	0人	0人	0人	14人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	2人	1人	1人	2人	0人	0人	0人	6人
計（季節）	0人		0人			12人			2人				14人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			4人			2人				6人

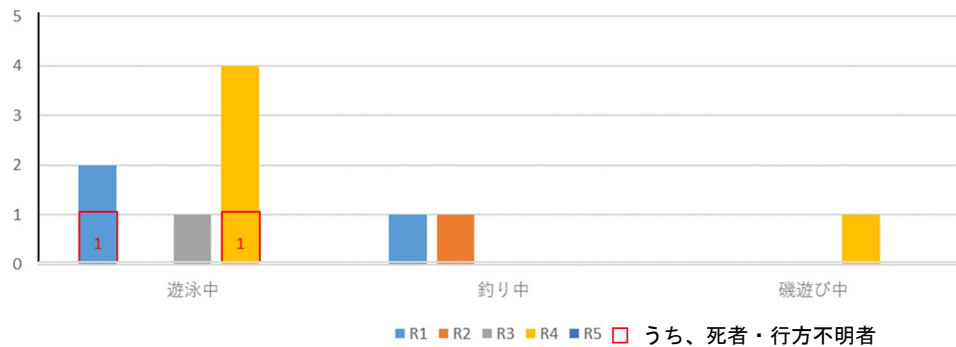
③ 18歳以下のマリレに伴う海浜事故の状況

- ✓ 18歳以下のマリネジャーに伴う海浜事故の発生状況については、遊泳中の発生が最も多く、全体の70%（7人/10人）を占め、次いで釣り中の発生が全体の20%（2人/10人）と続く。（5年間累計）

〔マリネジャー別の発生割合（5年間累計）〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



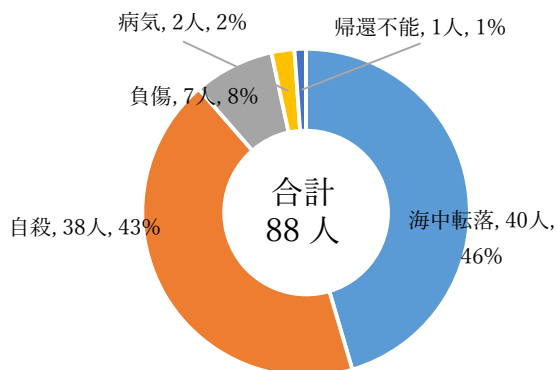
〔18歳以下のマリレに伴う海難の発生時期と海難の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
溺水								1人					1人
うち、死者・行方不明者								1人					1人
帰還不能							7人						7人
うち、死者・行方不明者							1人						1人
海中転落						1人			1人				2人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	1人	7人	1人	1人	0人	0人	0人	10人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	2人
計（季節）	0人		0人			9人			1人				10人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			2人			0人				2人

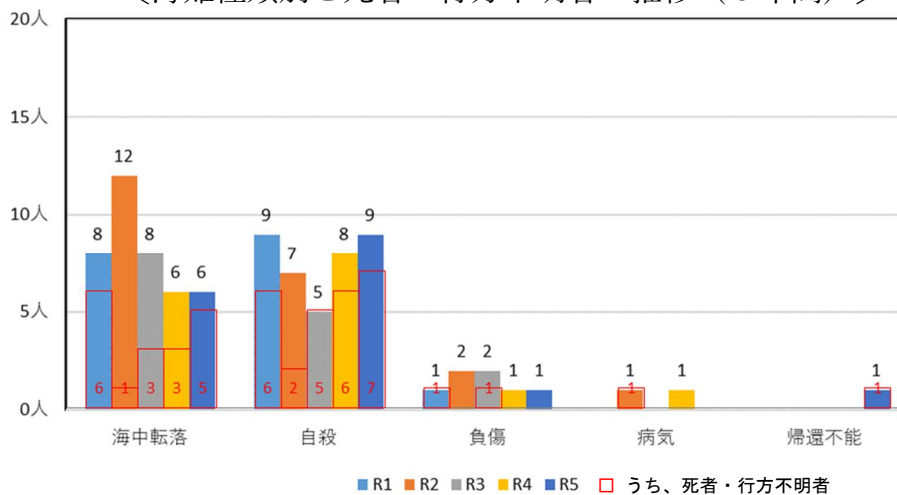
(4) マリレ以外の海浜事故

- ✓ 海難種類別にみると、海中転落が最も多く、全体の46%（40人／88人）を占め、次いで自殺が43%（38人）と続く。（5年間累計）

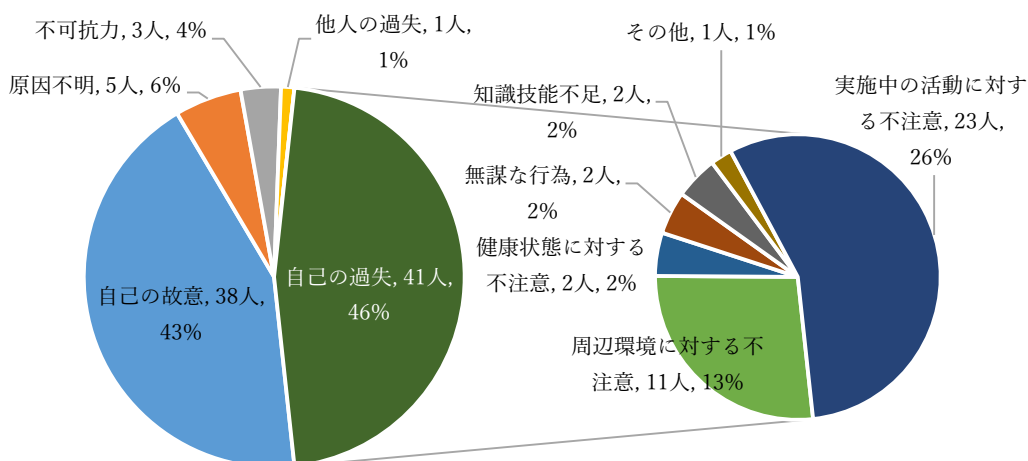
〔海難種類別の割合（5年間累計）〕



〔海難種類別と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



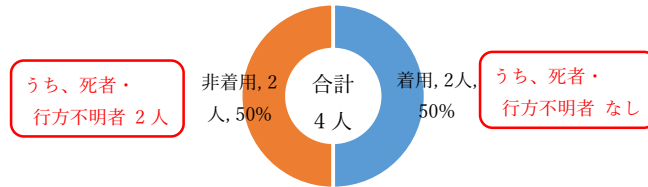
〔海難原因別の割合（5年間累計）〕



3 海難発生時における救命胴衣の着用率

(1) 漁船からの海中転落者の救命胴衣着用率

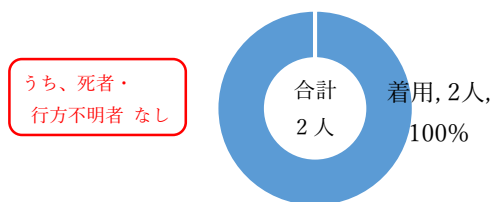
〔5年間累計〕



	R1	R2	R3	R4	R5	計	割合
着用	1人		1人	2人		4人	44%
うち、死者・行方不明者						0人	0%
非着用		1人	1人	2人	1人	5人	56%
うち、死者・行方不明者				2人		2人	100%
計	1人	1人	2人	4人	1人	9人	100%
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	2人	0人	2人	100%

(2) プレジャーボートからの海中転落者の救命胴衣着用率

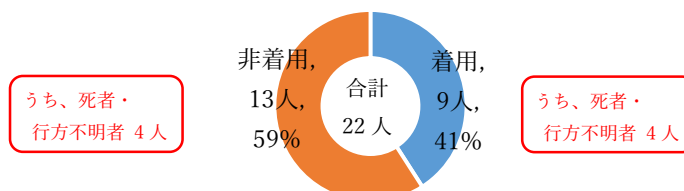
〔5年間累計〕



	R1	R2	R3	R4	R5	計	割合
着用	1人	1人				2人	100%
うち、死者・行方不明者						0人	-
非着用						0人	0%
うち、死者・行方不明者						0人	-
計	1人	1人	0人	0人	0人	2人	100%
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	-

(3) 釣り中の海中転落者の救命胴衣着用率

〔令和4年〕



	R1	R2	R3	R4	R5	計	割合
着用	2人	3人	1人	3人		9人	41%
うち、死者・行方不明者				2人		4人	50%
非着用	4人	4人	3人	1人	1人	13人	59%
うち、死者・行方不明者	3人	1人				4人	50%
計	6人	7人	4人	4人	1人	22人	100%
うち、死者・行方不明者	3人	3人	0人	2人	0人	8人	100%